

## 1. 研究主題

学習意欲の向上を目指した中学校外国語科の実践研究（2年次）  
～ICTを活用したオーセンティック（真正）な学びを通して～

高松市立玉藻中学校 教諭 中嶋里美

## 2. 研究の具体

## 〈1年次の研究〉

中学3年生を対象に、ICTを活用したオーセンティックな外国語科の授業を実践し、子どもの学習意欲に及ぼす影響を分析した。韓国の高校1年生とのオンライン交流後、質問紙調査の回答や授業後のふり返りの記述等から、オーセンティックな外国語科の授業は、大部分の生徒が楽しいと感じ学習意欲を高めることが明らかになった。しかし、相手国とのICT機器設定を含む授業準備、教師間の打ち合わせ等の負担が課題として残った。

## 〈2年次の研究〉

対象は中学2年生である。授業準備の過程をスリム化し、誰もが必要感をもって容易に外国とのオンライン交流（オーセンティックな学び）を実現することを目指した。その際、公立学校にある環境・設備で、1年次の研究と同じようにオンライン交流授業を行えるようにした。さらに、より容易に取り組めるように、交流時間等を変更した（左の表）。また、スリム化する一方で、交流回数を1回から2回に増やし、子どもの学習意欲に及ぼす影響を分析した。

1年次研究と2年次研究の変更点

変更した項目		1年次	2年次
ICT環境・設備	WEB会議システム	ZOOM（市教育委員会や大学の協力のもと）	Microsoft Teams（学校のGIGA端末で使用されているもの）
	交流時間	英語の授業時間内	放課後
授業	対象者	対象学年全員	対象学年の中から希望者のみ
	発表内容	日本の文化や香川県、学校の紹介	自己紹介やお気に入りのもの等、テーマは自由
	交流形式	グループで発表、交流	個人・グループを自由に選択

研究と同じようにオンライン交流授業を行えるようにした。さらに、より容易に取り組めるように、交流時間等を変更した（左の表）。また、スリム化する一方で、交流回数を1回から2回に増やし、子どもの学習意欲に及ぼす影響を分析した。

## 3. 研究の検証および改善の手立て

## (1) オーセンティックな学びにおける生徒の学習意欲について

鹿毛(2023)の言う「意欲」とは、意志(やり遂げようとする心理)+欲求(～したいと感じる心理)である。この視点で実践授業後のふり返りアンケートの記述内容を見ると、「始めは自分のプレゼンや質問されたことを発表できるか不安だったけれど、素直に相手と話したいという気持ちをもつと、自信をもって話すことができた。」「2回目はバージョンアップして、ペラペラしゃべりたい。」「次の交流では、もっと相手の気持ちに寄り添って会話ができるように頑張る。」など、学習意欲の向上に関わる内容が見られた。英語の苦手な生徒も参加していたが、1年次研究と同様の成果が見られた。さらに交流を2回行うことで、次への課題や目標が自然と生まれ、主体的に取り組もうとする態度が見られた。



## (2) スリム化における成果と課題について

WEB会議システムツールの変更により、外部関係機関への依頼等の時間が大幅に削減された。また、交流を希望者のみとし、放課後に行うことで、授業時間内という制限がなくなり、海外とのオンライン交流が容易となった。内容について、子どもの興味・関心事についての発表としたことで、ふり返りアンケートの記述には、「自分の好きなキャラクターを相手の子が知っていてうれしかった。この交流のおかげで韓国に行ってみたいなという気持ちがより強くなった。」「(日本のアニメ映画)を知っていると聞いてとても嬉しくなった。急に親近感がわいた。今回のような交流は英語の勉強にもなるし、何よりお互いの知識を育めるのでよい経験だと思った。」等、外国語学習の必要感や学習意欲の高まり、外国の文化に興味を示す内容が見られた。一方で、Teamsの環境設定の不備により音に関する不具合が発生するなどの課題も残った。

## (3) 研究協力校(A校)の課題と本研究との関連・今後の取組について

A校の生徒は、香川県学習状況調査や全国学力・学習状況調査の結果の分析から、学力は多くの教科で県平均を上回っており、基礎学力は定着していると言える。しかし、「分かりたい」「学びたい」という主体的に学ぶとする態度や、自分たちで課題を立てて解決しようとする態度にはまだまだ課題がある。今後も、特に外国語科においてICTを活用したオーセンティックな授業づくりを継続し、子どもの学習意欲を高められればと考える。今回の実践研究の課題となったGIGA端末による設定や操作上の不具合を解決し、オンライン授業をマニュアル化して、どの学校においても容易に外国とのオンライン交流を行えるようにしていきたい。

引用文献：鹿毛雅治(2023). 英語の学習意欲を問うーモチベーション理論の視角からー. 全国英語教育学会第48回香川研究大会 特別講演資料.